

「がん患者のリハビリテーションの現状と課題」の調査研究へのご協力をお願い

(1) 実施計画の背景

がんのリハビリテーションの重要性は年々高くなる中、2014年4月の医療報酬改正でがんのリハビリテーションが新設されました。当リハビリテーション科も厚生労働省認可の研修終了者を増加させて対応しております。実際に入院されたがん患者さんに対するリハビリテーションの介入がどれくらいできているのか、十分な訓練(単位数・期間など)を提供できているか、QOL(生活の質)の向上に繋がっているかなど、きちんとした把握が出来ているとはいえない状況です。よって現状を把握した上で、課題の抽出と今後の取り組みに活かしたいため、是非ご協力をよろしく願いいたします。

(2) 目的・意義

がん患者さんに対するリハビリテーション(PT・OT・ST)の現状を調査し、その成果を今後のリハビリテーションの充実に向けた基礎データとして役立てます。

(3) 研究デザイン

当院に入院されたがん患者さんについて、カルテより情報を収集する。後ろ向き研究として行います。

【対象】

2014年4月1日～2016年3月31日までにがんの病名として治療入院された患者さんを対象とします。

【方法】

調査は、カルテ調査のみとし、直接介入は行わない。調査項目は、性別、年齢、病名、入院期間、病名、stage、手術の有無、化学療法の有無、放射線療法の有無、リハビリテーション(PT・OT・ST)期間・実施単位数、患者1人当たりの単位数、術後訓練の平均日数や単位数、入院時および退院時の活動性・日常生活動作能力など、転帰時先状況についてカルテより調査します。以上の項目を集計・分析し、がん患者さんのリハビリテーションの現状、今後の指針とすることを目的に行います。

(4) 調査対象期間

倫理委員会で承認後1ヶ月程度です。

(5) 予想される利益および起こり得る危険・不利益について

本研究は、後ろ向き研究としてカルテ検索のみにて実施するため、実施上患者さんが受ける直接的な危険はない。また個人情報も匿名化され、個人を特定することのできる情報を含めないものとします。

(6) 個人情報を保護する方法

記録の保管責任者は、リハビリテーション科 坪内 健一とし、本研究で得られた情報は、すべて匿名化することとし、研究実施計画書に記載した以外の目的には使用しません。

(7) 研究実施担当者

リハビリテーション科 係長 理学療法士 坪内 健一

もし、今回のデータ使用について同意を頂けない場合には、お手数ですが下記の問合せ先までご連絡下さい。

【問合せ先】 松山赤十字病院 リハビリテーション科 研究実施担当者 坪内 健一
TEL:089-924-1111(代) FAX:089-922-6892(代)